

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公表番号】特表2013-524978(P2013-524978A)
 【公表日】平成25年6月20日(2013.6.20)
 【年通号数】公開・登録公報2013-032
 【出願番号】特願2013-506749(P2013-506749)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月25日(2014.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼の網膜を走査する走査検眼鏡 (1 0) であって、
 コリメート光源 (1 2) と、
 第 1 走査要素 (1 4) と、
 第 2 走査要素 (1 6) と、
 2 つの焦点を有する走査中継装置 (1 8) と
 を備え、

前記コリメート光源 (1 2)、前記第 1 走査要素 (1 4)、前記第 2 走査要素 (1 6)、及び前記走査中継装置 (1 8) は、見掛け上の点光源から 2 次元コリメート光走査を行うよう組み合わさり、

前記走査検眼鏡は、走査伝達装置 (2 0) をさらに備え、該走査伝達装置は、2 つの焦点 (2 0 a)、(2 0 b) 及び少なくとも 1 つの頂点 (2 0 c) を有し、前記見掛け上の点光源は、前記走査伝達装置 (2 0) の第 1 焦点に設けられ、眼が前記走査伝達装置の第 2 焦点で調節され、前記走査伝達装置 (2 0) は、前記見掛け上の点光源からの前記 2 次元コリメート光走査を前記眼に伝達し、

前記走査中継装置の前記 2 つの焦点及び前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点は、第 1 平面を画定し、前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点及び前記少なくとも 1 つの頂点は、第 2 平面を画定し、前記第 1 平面及び前記第 2 平面は、実質的に平行であり、

前記第 1 走査要素の前記回転軸は、前記走査中継装置の前記 2 つの焦点を結ぶ線と実質的に平行であり、前記第 2 走査要素の前記回転軸は、前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点を結ぶ線に対して実質的に垂直である、走査検眼鏡。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記第 1 走査要素 (1 4) 及び前記第 2 走査要素 (1 6) の回転軸は、実質的に直交する走査検眼鏡。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記第 1 走査要素 (1 4) の前記回転軸は、前記走査中継装置 (1 8) の前記 2 つの焦点を結ぶ線に対して実質的に垂直であり、前記第 2 走査要素 (1 6) の前記回転軸は、前記走査伝達装置 (2 0) の前記 2 つの焦点を結ぶ線と実質的に平行である走査検眼鏡。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査中継装置 (1 8) は、楕円鏡、非球面鏡、楕円面鏡、一对のパラボラ鏡、及び一对の放物面鏡からなる群の 1 つを含む走査検眼鏡。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査中継装置 (1 8) は、少なくとも 1 つの頂点を含み、前記走査中継装置の該少なくとも 1 つの頂点及び前記 2 つの焦点は、同一平面上にある走査検眼鏡。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査伝達装置 (2 0) は、楕円鏡、非球面鏡、楕円面鏡、一对のパラボラ鏡、及び一对の放物面鏡からなる群の 1 つを含む走査検眼鏡。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査伝達装置は、少なくとも 1 つの頂点を含み、前記走査伝達装置の前記少なくとも 1 つの頂点及び前記 2 つの焦点は、同一平面上にある走査検眼鏡。

【請求項 8】

請求項 5 に従属する場合の請求項 7 に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査中継装置 (1 8) の前記少なくとも 1 つの頂点及び前記 2 つの焦点により画定される前記平面と、前記走査伝達装置 (2 0) の前記少なくとも 1 つの頂点及び前記 2 つの焦点により画定される前記平面とは、実質的に平行である走査検眼鏡。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査中継装置 (1 8) の一方の焦点は、前記走査伝達装置 (2 0) の一方の焦点と一致する走査検眼鏡。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記走査中継装置 (1 8) の第 2 焦点は、前記走査伝達装置 (2 0) の前記第 1 焦点と一致する走査検眼鏡。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の走査検眼鏡 (1 0) において、前記第 1 走査要素 (1 4) は、前記走査中継装置 (1 8) の第 1 焦点に位置決めされ、前記第 2 走査要素 (1 6) は、前記走査中継装置 (1 8) の前記第 2 焦点に位置決めされる走査検眼鏡。

【請求項 12】

眼の網膜を走査する方法であって、

コリメート光源、第 1 走査要素、第 2 走査要素、及び 2 つの焦点を有する走査中継装置を設けるステップと、

前記コリメート光源、前記第 1 走査要素、前記第 2 走査要素、及び前記走査中継装置を組み合わせ用いて、見掛け上の点光源から 2 次元コリメート光走査を行うステップと、

2 つの焦点及び少なくとも 1 つの頂点を有する走査伝達装置を設けるステップと、

前記走査伝達装置の第 1 焦点に前記見掛け上の点光源を設け、前記走査伝達装置の第 2 焦点で眼を調節するステップと、

前記走査伝達装置を用いて、前記見掛け上の点光源からの 2 次元コリメート光走査を前記眼に伝達するステップと

を含み、

前記走査中継装置の前記 2 つの焦点及び前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点は、第 1 平面を画定し、前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点及び前記少なくとも 1 つの頂点は、第 2 平面を画定し、前記第 1 平面及び前記第 2 平面は、実質的に平行であり、

前記第 1 走査要素の前記回転軸は、前記走査中継装置の前記 2 つの焦点を結ぶ線と実質的に平行であり、前記第 2 走査要素の前記回転軸は、前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点を結ぶ線に対して実質的に垂直である、方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載の眼の網膜を走査する方法において、前記第 1 走査要素及び前記第 2 走査要素は、それらの回転軸が実質的に直交するよう位置決めされる方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 2 又は 1 3 に記載の眼の網膜を走査する方法において、前記第 1 走査要素の前記回転軸は、前記走査中継装置の前記 2 つの焦点を結ぶ線に対して実質的に垂直であり、前記第 2 走査要素の前記回転軸は、前記走査伝達装置の前記 2 つの焦点を結ぶ線と実質的に平行である方法。